

循環型社会の形成

循環型社会の形成に貢献するため、資源の有効利用を全社の仕組みとして取り組み、ゼロ・エミッション化を推進しています。そのため、事業所から排出する廃棄物について、排出量の削減(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)を進めています。

2006年度の目標

- ・廃棄物排出量原単位(排出量/内作生産高)..... 2004年度比 4%削減
- ・再資源化率 99%

2006年度の実績

廃棄物排出量

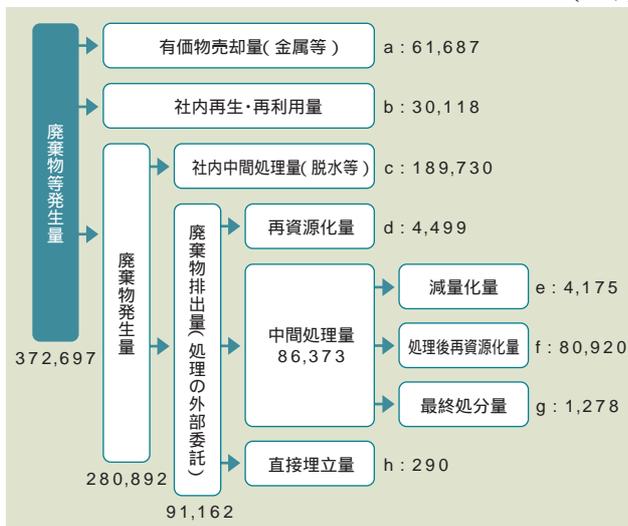
廃棄物排出量原単位は2004年度比13.5%削減となり、目標を達成しました。

廃棄物排出量は91,162tとなり、2004年度より0.8%削減しました。

廃棄物の再資源化率

再資源化率は2004年度より0.9ポイント向上し99.1%となり、目標を達成しました。

(t/年)



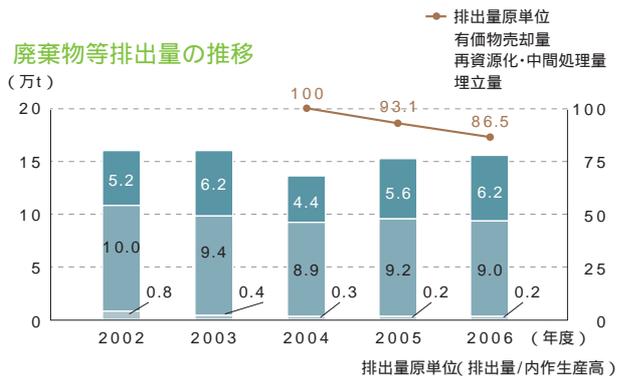
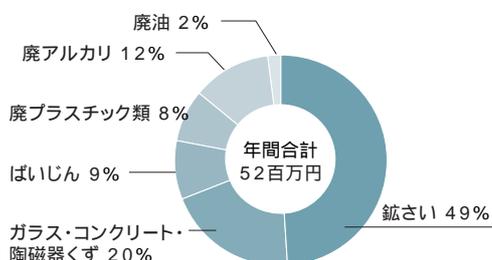
注1: 集計対象=国内事業所

注2: 再資源化率(%)=(a+b+d+f)/(a+b+d+f+g+h)×100

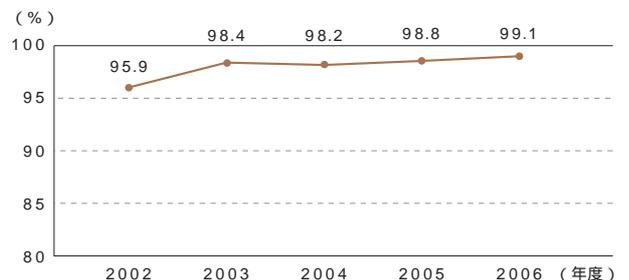
注3: 社外中間処理に伴う減量化量、処理後再資源化量、最終処分量は委託先での調査結果です。

ゼロ・エミッションによるコスト低減効果

排出量削減、再利用、再資源化による廃棄物委託処理費用の低減により、年間52百万円のコスト低減効果を生み出しています。



再資源化率の推移



建設廃棄物再資源化率の推移



注1) 2005年度まではクボタ単体、2006年度は国内グループ会社を含みます。

注2) 再資源化率(全)は特定建設資材廃棄物以外の工事廃棄物を含みます。

注3) 再資源化率=(有価物+再使用量+再生利用量+減量化量)/排出量(含有価物)

廃棄物等排出量と内訳

